令和7年度　大阪府福祉基金地域福祉振興助成金（施策推進公募型）テーマ　Ⅰつながる「居場所」づくり事業一覧

受付ID	団体名	主な活動地域	事業名	実施期間始まり	実施期間終わり	事業実施場所	対象者等	事業概要	助成決定額	精算額	返還額
65	社会福祉法人阪南市社会福祉協議会	阪南市	F×F＆Fプロジェクト2025 － FUKUSHI　×　Farm（農福）・Fishing（漁福）・Food(食福）＆Future（未来へ）－	R7.4.1	R8.3.31	阪南市	〈事業対象者〉 1、参加支援の必要性のある方 A、生活困窮者　B、子ども・若者　C、障がい者・高齢者、外国籍の方等　他 2、地域活動者 校区（地区）福祉委員会、自治会、老人クラブ、ボランティア、市民公益活動団体他 3、関心のある方 農園活動や漁業活動、子ども（地域）食堂の活動、立ち直り支援　他 〈居場所づくり実行委員会：農福・漁福・食福にかかる集まり：複数の委員会を想定〉 1、農福連携ボランティア　2、漁福連携ボランティア　3、子ども食堂ボランティア　4、民生委員・児童委員　5、患人会　6、婦人会　7、自治会　8、福祉委員会　9、ひきこもり支援のNPO団体　10、子ども支援のNPO団体　他 〈参加支援推進チーム〉 1、居場所づくり実行委員会のメンバー　2、地域包括支援センター　3、CSW 4、学校（SSW・SC）　5.介護・医療関係者（ケアマネジャー、社会福祉法人など）　6.基幹相談支援センター（自立支援協議会）他	『駄菓子屋カフェ』の事業を通じて、多世代がツナガル居場所、参加の場を開発し、産業の活性化や地域づくりのプラットフォームづくりを進めるとともに、新たにデザインやアートの力で継続的に事業が展開（未来へと続く）されるような内容とします。 1、多分野・多世代が「ツナガル」居場所づくり ＆ future（未来へ） （1）「居場所づくり実行委員会」のメンバーが主体（住民主体）となって、実行委員会そのものの開催や多世代交流イベント、多世代型地域食堂を実施します。また新たな担い手や協力者の拡大を図るため、新たにコミュニティデザインやアートに長けた方々との協働に取り組みます。 （2）居場所の多機能化、活動の見える化を意識した学習会の開催 2、居場所へ「ツナグル」参加支援の推進 参加支援コーディネーターを配置し、一人ひとりに合った参加の機会をコーディネートします。また、CSWや地域包括支援センター、生活困窮者の相談員などの関係機関とともに制度の狭間で孤立する方を参加の場へツナグル支援を行います。 3、「F×F＆Fプロジェクト2025」見える化事業 プロジェクトの同子化や広報物作成、ITを活用した情報発信、専附付き商品の開発を行います。 https://www.hannanshi-shakyo.jp/	5,000,000円	5,000,000円	
66	社会福祉法人桃林会	摂津市	「元気が出る地域活動」～地域活動のつながりから人のつながりへ～	R7.4.1	R8.3.31	摂津市	＜事業対象者＞ 地域住民 ＜委員会＞ 近隣の中学、高校、大学、自治会　他	①青空市の継続と地域拡大へのチャレンジ 敷地内び事業所や企業等の力を借りながら継続している青空市について、近隣団地との協働した実施に取り組む。 ②中学生、高校生のための居場所づくり 子ども食堂や喫頭カフェなど小学生を中心にした取組みを、摂南大学のゼミ生との協働で「中学生、高校生の居場所」に取り組んでおり、今後は、夏祭りなどのイベントについても中学生や高校生の活躍の場になるよう取り組む。	2,676,000円	2,501,524円	174,476円
68	NPO法人こども夢教室	高石市、大阪市浪速区	運動を活用したこどもの居場所づくり活動、相談事業	R7.4.1	R8.3.31	高石市	＜事業対象者＞ 地域住民 ＜地域ネットワーク＞ 商店や各種団体	・地域ネットワークの立ち上げ 現在既に繋がっている方々や団体（高石市母子父子寡婦福祉会、民生児童委員、民生委員、婦人団体、PTA、商工会議所、市内専門学校、大学、高校、こども食堂、各種商店、企業、病院、図書館、ボランティア団体、農園、行政、社会福祉協議会）との課題の共有、居場所づくりにむけた協議 ・不登校の偏見をなくす活動 セミナー実施、次世代の支援者の学習会 ・キャリア教育、体力学力支援 企業や商店など身近な方も含めた仕事を知る講演や体験 不登校児童へのお仕事の依頼（社会との接点づくり）	4,627,000円	4,415,731円	211,269円
69	特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋	大阪市西成区	ニシナリ多文化共生事業　だんらんっらんっ！	R7.4.1	R8.3.31	大阪市西成区	＜事業対象者＞ 地域在住の外国人、若年の就労に難しさを感じる人を含めた地域在住の子どもから高齢者まで ＜実行委員会＞ 釜ヶ崎支援機構、山王こどもセンター、日越支援会	・多世代、多文化ルーツの人たちが言葉を超えてお互いを知り合うきっかけや交流の拠点ネットワークとなるよう、アートや食、身体をもちいたワークショップを毎月１回おこなう。 ・2年目となるR7年度は、昨年度の声を受け、それぞれのニーズに即した過ごし方ができるよう居場所の作り方を工夫しながら進めていく。 https://cocoroom.org/	1,446,000円	1,446,000円	
70	特定非営利活動法人　志塾フリースクールラシーナ	堺市、富田林市	子どもの学び支援を通じ大人も輝く！多様な地域住民がゆるく交わる『駄菓子屋カフェ』事業	R7.4.1	R8.3.31	堺市	＜事業対象者＞ 悩みや困難を抱える子ども・若者とその家族、見守りが必要な高齢者 ＜支援者会議、泉北BASE＞ ボランティアや社会貢献、当団体に関心のある大人や地域住民 福祉やこどもの教育、子どもを取り巻く課題などに関心がなく当団体の活動を知らない地域住民	支援活動への参加する大人と拠点を繋ぐコーディネーターを配置し、大人たちが子どもたちの支援活動に参加しやすい環境を提供する。 ・支援者会議 堺市南区子育て支援課、堺市南区社協、堺市子どもの未来応援室、地域包括、地域の中学校の生徒指導教諭、地域の放課後等デイサービス運営者などが参加する支援者会議を定期的に開催し、地域の専門機関や行政機関と連携することで、子どもたちや地域住民への適切な支援を早期に行う。 ・泉北BASE会議 当団体フリースクールスタッフ、居場所スタッフ、駄菓子屋カフェスタッフ、ボランティアスタッフなど拠点に関わるステークホルダーが参加し、支援者会議で話し合われた支援方針等の情報共有を行うとともに、ボランティアスタッフにも活動の目的を共有し、より良い支援が提供できるように取り組み、ボランティア同士が交流できる環境を整備し、支援活動を通じた相互の学びと協力を促進する。支援活動を通じて顕在化した課題については支援者会議にフィードバックする。 ・地域の拠点 地域の拠点として駄菓子屋やカフェを活用し、子どもたちや大人たちが自然に交わる場所を提供する。 https://senbokubase.shiiuku-fs.org	5,000,000円	5,000,000円	
71	一般社団法人グッドラック	大阪市住之江区、寝屋川市	こども通貨と都市型農園を使った「食×農×商×芸術」分野横断の居場所つくり	R7.4.1	R8.3.31	大阪市住之江区	＜事業対象者＞ ひとり親家庭の子どもと親、虐待環境下にある子ども、孤立中または孤立予備軍の高齢者、地域と繋がりのない子育て世帯、進路や就職に悩みや困難を抱える子ども・若者 ＜実行委員会＞ ・すでに繋がっている、自治会、クリエイター、商店街、NPO、市民団体などに加え商店街、自治会、地域NPO、教育機関も想定	・「農 × 食 × 商 × アート」一体型の職業＆創造体験プログラム 都市型農園「みんなのうえん」（農園と飲食店設備を有す）と加賀屋商店街、北加賀屋地域のアーティスト・クリエイターが領域を超えてコラボレーションし、単なる「体験」ではなく、こども自身が主体的に関わるプログラムを行い、より深い学びと自己成長につなげます。 ・こども専用通貨を介して活動が循環する居場所づくり 当施設でこどもだけ使える通貨を発行し、子どもたちはその通貨を使ってクリエイターのワークショップに参加したり、子ども食堂で飲食。また、「クエスト」や「ガチャ」などのゲーム感覚を取り入れ、子どもたちが楽しみながら主体的に活動に参加し、達成感を味わえる仕組みをつくる。 ・専門家による支援のサービスや、サポートの取り組み イベントが行われていない平常時でも誰でも来所できる居場所 兼 飲食店 兼 都市農園として運営する。ワークショップや子ども食堂、通貨システムでリーチできた支援が必要な子どもに対しては、常駐スタッフが適切な支援、他機関との橋渡しを行う。	5,000,000円	3,057,704円	1,942,296円
72	一般社団法人セーフティネットリンケージ	大阪府	みまもりあいプロジェクトin吹田 ～「1人でいても、ひとりぼっちにしない」市民主体型【DX居場所】づくり～	R7.4.1	R8.3.31	吹田市	＜事業対象者＞ 吹田市内「認知症等による望まない孤独孤立（空白期間）」の環境にある在宅の①認知症当事者とご家族、②MCI（軽度認知障がい）当事者、③身体的虚弱に陥った高齢者 ＜実行委員会＞ 吹田市の支援団体（呼びかけ団体：吹田市社会福祉協議会、サポート：一般社団法人セーフティネットリンケージ） ○実行委員会 参加予定団体＝認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、吹田市高齢福祉室、自治会、大阪ふどがわ市民生活協同組合、吹田ホスピス市民塾、御用聞き(大阪グループ)、大阪大学老年看護研究室、関西大学社会学専攻、済生会千里病院、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会、NPO法人市民ネットすいた、NPO法人COCOONI　他	【1】「つながりあう」→実行委員会を立ち上げる 「DXを活用した市民主体型の居場所づくり」を育てる実行委員会を立ち上げます。 【2】「知ってもらう」→市民に知ってもらう（行政・団体経由で広報） アプリ内の「グループ情報配信・音声番組」を受け取れる「情報共有し合う場」を構築します。 【3】「参加してもらう」→個人情報非登録で簡単に参加できて、つながり続ける 「個人情報非取得で安心してＳＮＳができるアプリ」を使って、参加できます。 【4】「自分たちでもやってみたい！を育む」→見守り訓練・地域巡りを自分たちで作る 「これなら自分たちでもやってみたい」を実現するために、DX勉強会等の企画でサポートします。	4,998,000円	4,998,000円	
73	社会福祉法人四條畷市社会福祉協議会	四條畷市	なわて繋がりプロジェクト	R7.4.1	R8.3.31	四條畷市	＜事業対象者＞ 四條畷市民（在住、在勤含む） ＜実行委員会＞ 四條畷に愛着があり、四條畷の地域づくりに関心のある人や団体	・地域住民、市内ボランティア団体、NPO法人、社会福祉法人、民間企業、教育機関等の参加を想定した「なわて繋がりプロジェクト」実行委員会を立ち上げる。 ・「なわて繋がりプロジェクト」で、地域のあらゆる人が気軽に集まれる居場所（場、空間）、語り合いの場、交流の場、就労の場等、地域のすべての人が活躍できる場づくりについて、「あったらいいな」のアイデアを出し合いながら、居心地のいい空間のデザインを描き、話し合いながら、地域共生社会の土台をつくる。	1,195,000円	551,901円	643,099円
									29,942,000円	26,970,860円	2,971,140円